

福祉部 こども健康部 教育委員会

保健福祉センター施設維持管理について

問 平成29年10月の保健福祉センター会議室などの有料化に伴い、利用形態にさまざまな変化があったとのことだが、これは利用の適正化が図られたと考えるべきか。
答 有料化により各団体が活動規模に見合った利用を行うようになったことで、これまで以上に多くの団体が利用できる機会が増えたと認識している。

意見 有料化により利用の適正化が図られているのであれば、施設管理者と利用者間に使用料の最適な水準があるはずであり、その水準がどこであるのか、所管課に

都市部 環境科 環境産業部 建設部・都市部 上下水道局 農業委員会事務局

ごみ収集運搬業務について

問 し尿汲み取り事業者の転業補償として、一者特命任意契約により始まった委託は32年間にわたり49億円を超える委託料を支出しているが、今後の転業補償期間の設定に対する考えはどのようなか。
答 事業者の転業や規模の適正化の状況を把握するため、経営状況と分ける決算資料などの提出を求め、専門家による分析を依頼したいと考えている。その結果に基づき、転業補償期間の設定について事業者と交渉していきたい。

要望 一者特命任意契約を続けるを得ないのであれば、委託料に一定の落札率を乗じた額での契約となるよう検討してほしい。

おいて研究すべきである。
重度障害者医療費助成事業について
問 重度障がい者の経済的負担軽減のため、医療費の保険給付内における自己負担分を助成しているとのことだが、対象者の区分や実績はどのようなか。
答 手帳取得時に65歳未満で身体障害者手帳1級、2級や知能指数35以下などに該当する人を助成対象としている。平成29年度の実績は2367人に助成し、身体障害者手帳1級、2級に該当する人が全体の約72.7%を占めている。

重度障害者医療費助成事業について

要望 助成対象者の区分別に支出した助成額の内訳などは集計していないとのことだが、所管課が予算を管理する上では必要なデータであると考えられるため、今後は詳細な把握に努めてほしい。

かながわ学びづくり推進事業について
問 平成29年度に本町小学校を重点拠点校とし、公開授業研究会や研究先進校への視察などを行っているが、成果はどのようなか。
答 授業改善の取り組みを公開授業研究会などにより、市全体に拡充したことや分かる授業・楽しい授業の実現のため、若い教職員が研究活動に携わったことが大きな成果と捉えている。

生ごみ減量推進事業費について
問 家庭系可燃ごみの約3割を占める生ごみを減量するため、キエロなどの家庭用生ごみ処理機購入者に対して補助しているが、平成29年度の実績はどのようなか。
答 28年度までは横ばい状態だったが、29年度は市議会議員有志をはじめ県立西部総合職業技術校などの協力を得ながら、キエロの実演展示や市内販売を開始するなど普及促進に努めた結果、73件と大きく補助件数を伸ばした。

要望 37年度末までに、はだのクリーンセンター施設での焼却体制へ移行できるよう、引き続き努力してほしい。

観光地交流活性化事業について
問 観光客の回遊性を高め、鶴巻温泉の観光客増加や活性化を図るため、大山と鶴巻温泉駅を結ぶ路線バスの実証運行を行ったとのことだが、その実績を踏まえた平成30年度の取り組みはどのようなか。
答 地元商業者や関係機関などで

点拠点校とし、公開授業研究会や研究先進校への視察などを行っているが、成果はどのようなか。
答 授業改善の取り組みを公開授業研究会などにより、市全体に拡充したことや分かる授業・楽しい授業の実現のため、若い教職員が研究活動に携わったことが大きな成果と捉えている。

要望 児童・生徒の個性を引き出せる環境を整えることが学習意欲の向上につながるため、テストの点数を上げることだけを意識するのではなく、学級の中における雰囲気づくりを大切にしてほしい。

子ども相談事業について
意見 平成29年度の児童虐待などの相談件数は7990件であり、25年度と比べて1210件増えている。現在は常勤職員4人を含む13人に対応しているが、相談件数が増加傾向にあるため、業務量調査を行い、適正な人数を配置できるように検討すべきである。

組織する観光地交流活性化協議会の意見を踏まえ、29年度の取り組みを定着させるため、30年10月下旬から12月上旬まで、大山から鶴巻温泉駅への下り方面において、再度実証運行を行う予定である。
建築物耐震改修等補助事業費について
問 補助対象となる昭和56年6月1日より前に着工した木造建築物の居住者は高齢者が多いため、実際に耐震診断などを行うケースは少ないことが課題のようであるが、

今後の対応はどのようなか。
答 引き続き、制度の普及・啓発を行うとともに、市民ニーズの把握に努め、過去に補助を受けた人との公平性などを踏まえながら、効果的な補助制度の拡充などについて検討していきたい。

要望 大規模地震に備えた住宅の耐震化は市民生活の安全につながる大切な事業であるため、今後も耐震化促進に努めてほしい。
土木管理業務費について
問 認定市道全線の道路台帳の電子化を行い、道路管理業務の効率化や窓口業務などの市民サービス向上に努めたとのことだが、その効果はどのようなか。
答 道路改良や補修工事などの施工状況をシステムに蓄積することで、維持管理の効率化・高度化が図られた。また、窓口業務における来庁者への対応や、カーブミラーなどの道路付属物に関する問い合わせにおいても、迅速な対応が可能となった。



地元食材を活用した小学校給食の様子

小学校給食調理経費について
問 栄養士や調理師が献立や調理方法を工夫するなど、日頃からおいしい給食の提供に努めているとのことであるが、地元食材の活用状況はどのようなか。
答 農協や地域の生産組合の協力により、地元食材の活用割合を高める努力をしている。平成29年度は地元食材を約3割活用した。

要望 地元食材の活用は地産地消の観点から重要であるため、さらなる活用を検討してほしい。

討論

▼本会議での反対討論
消防署各分署修繕のため消防費の流用を行ったが、早急に修繕計画を策定すべきであること、新東名高速道路建設に係る事業は自然環境などの破壊につながる多くの問題があることなどから反対する。

▼本会議での賛成討論
法人市民税が平成28年度と比較し13.3%の増となり、市税全体で約1億1300万円の増収となるなど財政状況は改善傾向が見られ、財政調整基金は積極的な投資による取り崩しがあつたが約29億円を確保している。一方、市債のプライマリバランスは赤字に転じ、高齢化による扶助費などの社会保障費は増加を続け、依然として厳しい財政状況が続いている。

このような中でも、活発なシテイプロモーション活動により、ハダ恋・山恋と銘打って、本市の魅力発信に努めたこと、表丹沢野外活動センター内の施設整備、鶴巻温泉駅南口周辺整備や名水はだの富士見の湯の建設など長年の懸案であった大型事業が無事に完成したことなどについては評価する。

これからは、建設への投資から維持管理への投資による公共施設の長寿命化へシフトし、現存する施設の効果的な活用を工夫してほしい。また、中学校完全給食の実施や小児医療費の助成拡大などの事業における財源の根拠について明確にすべきである。

厳しくなる財政状況の中、財政の健全性と持続性を維持しながら、心が豊かになるような取り組みを求めている。水と緑にあふれたまち、人に優しいまち、元気あふれるまちの実現に向け、着実に事業を展開していくことを期待する。

▼採決の結果
委員会 認 定(賛成多数)
本会議 認 定(賛成多数)

水道事業会計

▼本会議での反対討論
地下水利用協力金について、地下水利用者に応分の負担を求めべきであることから、反対する。

▼本会議での賛成討論
賛成だが、耐震化の工事など公営企業として実施すべき公共事業の水準を再検討してほしい。

▼採決の結果
委員会 認 定(賛成多数)
本会議 認 定(賛成多数)

公共下水道事業会計

▼本会議での反対討論
一般会計繰出金の在り方について
問 汚水処理費用における不足額を一般会計繰出金で充当しているが、その金額を下水道使用料に転嫁する考えはあるか。
答 維持費の増大などの実態を考慮し、下水道の費用負担の在り方を踏まえた使用料対象経費を基礎とし、適正な範囲内で定めることが国の示す基本的な考えでもあるため、適切に検討していきたい。

▼本会議での賛成討論
賛成だが、下水道汚泥運搬及び処分委託契約について精査してほしい。

▼採決の結果
委員会 認 定(賛成多数)
本会議 認 定(賛成多数)

国民健康保険 事業特別会計

▼本会議での反対討論
資格証明書の発行をやめ、徹底した実態調査を行うべきであることなどから反対する。

▼本会議での賛成討論
賛成だが、税の公平性担保のためには、不納欠損を減らす必要があり、人員配置を検討してほしい。

▼採決の結果
委員会 認 定(賛成多数)
本会議 認 定(賛成多数)

介護保険事業特別会計

▼本会議での反対討論
買い物支援に関する取り組みについて
問 平成29年度に西地区で実施した「買い物に関するアンケート調査」の結果を踏まえて、公用車を利用した買い物支援について試行しているが、買い物支援の取り組みは全庁的な検討も必要なこと



買い物支援モデル事業で利用する公用車

後期高齢者医療 事業特別会計

▼本会議での反対討論
年齢差別と負担増の現行制度から老人保健制度に戻すべきである。

▼採決の結果
委員会 認 定(賛成多数)
本会議 認 定(賛成多数)



平成30年度も実施される実証運行